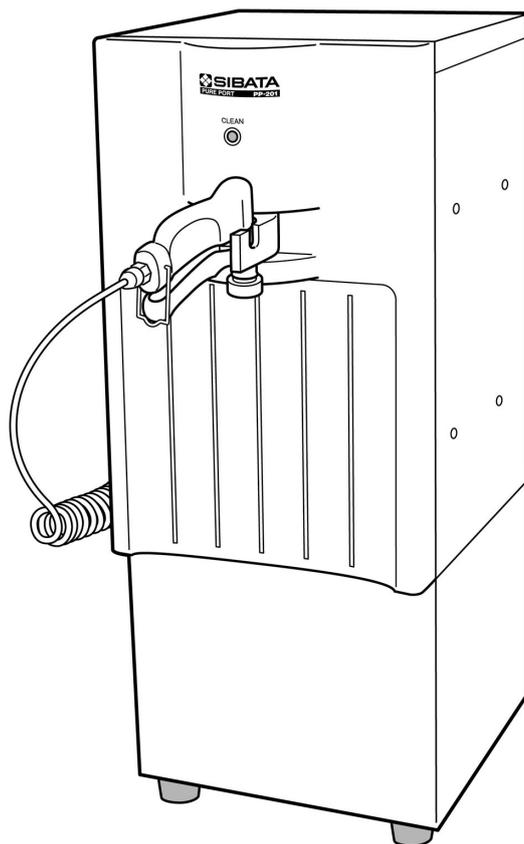


# 純水製造装置 ピュアポート PP-201

## OPERATION MANUAL

### 取扱説明書



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。
- ご使用前に、この取扱説明書と添付の保証書を最後までお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保証書とともに大切に保管してください。

# 目次

	ページ		ページ
ご使用の前に	3	トラブルシューティング	26
取扱説明書について	3	点検とお手入れ	27
付属品の確認	3	主な仕様	28
安全上のご注意	4	消耗品など	28
本製品について	10	保証書と修理について	29
各部の名称	10	お問い合わせは…	29
使用方法	14		
作業の流れ	14		
セッティング	14		
採水方法	20		
消耗部品の交換	22		

# ご使用前に



- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、手近な場所に大切に保管し、いつでも取り出せるようにしてください。
- 本書の安全に関する指示は、内容をご理解のうえ、必ず従ってください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書に記載の使用方法をお守りください。

以上の指示を必ず厳守してください。

指示に従わない場合は、ケガや事故の恐れがあります。

## ■取扱説明書について

- 取扱説明書の内容は、製品の改良などにより予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれがあった場合は、お手数ですが、当社までご連絡ください。
- 本書の著作権は柴田科学株式会社に帰属します。  
本書の一部または全部を、柴田科学株式会社からの書面による事前の承諾を得ることなく複写複製（コピー）・転載・改変することを禁じます。

## ■付属品の確認

ご使用前に、内容物を確認してください。

<input type="checkbox"/> 純水製造装置本体……………	1台	<input type="checkbox"/> プラグ……………	2個
<input type="checkbox"/> イオン交換樹脂……………	1本	<input type="checkbox"/> スリーブ……………	2個
<input type="checkbox"/> 中空糸フィルター……………	1個	<input type="checkbox"/> 分岐管……………	1個
<input type="checkbox"/> 活性炭カートリッジ……………	2個	<input type="checkbox"/> ピンチコック……………	1個
<input type="checkbox"/> 排水チューブ（本体に付属）……………	1本	<input type="checkbox"/> シャワーノズル 16 穴（本体に付属）……………	1個
<input type="checkbox"/> ドレンホース……………	1本	<input type="checkbox"/> ストレートノズル……………	1個
<input type="checkbox"/> 給水ホース（取付コネクター付）……………	1組	<input type="checkbox"/> 接続プラグ……………	2個
<input type="checkbox"/> ホースバンド……………	1個	<input type="checkbox"/> コンセントアダプター……………	1個
<input type="checkbox"/> PE チューブ 600 mm（ソケット付）……………	1本	<input type="checkbox"/> 保証書……………	1部
<input type="checkbox"/> PE チューブ 900 mm（ソケット付）……………	1本	<input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書）……………	1部

- 内容物に破損もしくは欠品があった場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

# 安全上のご注意

この取扱説明書に示す警告・指示事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な事項ですので、ご使用前によく読んで内容を理解し、必ずお守りください。

## ■ 絵表示について

この取扱説明書では、警告・指示事項に各種の絵表示を使用しています。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる程度を「警告」「注意」の2つに区分しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

### 危害・損害の程度とその表示

 <b>警告</b>	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害の発生が想定されることを示しています。

### 絵表示の例

 接触禁止	記号⊘は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な内容は、記号中や近くの文章で表しています。左の表示は「接触禁止」の表示です。
 電源プラグを抜く	記号●は、必ず実行していただきたい内容を告げるものです。具体的な内容は、記号の中や近くの文章で表しています。左の表示は「必ず電源プラグを抜いてほしい」という表示です。

### 警告・指示事項



禁止

電源コードを熱器具等で高温になるところに近づけない。

火災や漏電などの原因となることがあります。



禁止

濡れた手で電源プラグをコンセントから抜いたり、差し込んだりしない。

感電などの原因となることがあります。

# 警告



電源コードの上に物を載せない。

**禁止**

火災や漏電・感電などの原因となることがあります。



電源コードが傷んでいるときは使用しない。

**禁止**

火災や漏電・感電などの原因となることがあります。



電源コードを無理に曲げたり、束ねたりした状態で使用しない。

**禁止**

火災や機器破損などの原因となることがあります。



電源コードを加工したり、傷つけたりしない。

**禁止**

火災や漏電・感電などの原因となることがあります。



電源コンセントは、定格電源 AC100V ± 10%以内で、コンセントの定格電流を守って使用する。

**強制**

火災や機器破損などの原因となることがあります。



アースを必ず接地してから、本製品を使用する。

**アースを接地する**

漏電・感電、機器破損などの原因となることがあります。



**電源プラグを抜く**

煙や異臭が発生したら、ただちに漏電ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

異常な状態での使用継続は、火災などの恐れがあります。



**電源プラグを抜く**

本体内に液体が入ったら、ただちに漏電ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や漏電・感電などの恐れがあります。

## 警告



電源プラグ  
を抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や漏電・感電などの原因となることがあります。



電源プラグ  
を抜く

本体を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。

機器破損や感電・漏電などの原因となることがあります。



電源プラグ  
を抜く

清掃・点検をするときは、電源プラグをコンセントから抜く。

感電・漏電などの原因となることがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、機器や電源コード・コンセントに近寄らない。

ケガや感電などの恐れがあります。



強制

使用前に電源コードの被覆の傷などの有無を確認する。

異常な状態での使用は、火災や感電などの原因となることがあります。



禁止

濡れた手で機器に触れたり、操作したりしない。

感電などの恐れがあります。



禁止

本体に水や薬品をかけたりしない。

ケガや感電、機器破損、または火災などの原因となることがあります。



禁止

本体の内部に異物や指などを入れない。

ケガや感電、機器破損、または火災などの原因となることがあります。

 **警告**



**接触禁止**

本体内部の制御基板には絶対に触れない。

低温火傷やケガなどの恐れがあります。



**禁止**

本製品を傾斜している場所や不安定な場所に設置しない。

ケガや機器破損、事故などの原因となることがあります。



**禁止**

本製品を湿気やほこりの多い場所、周囲に通気口がない場所に設置しない。

火災や漏電、機器破損などの原因となることがあります。



**禁止**

本製品を高温になるものの近くに設置しない。

火災や機器破損などの原因となることがあります。



**禁止**

子供の手が届くところに設置しない。

ケガや感電などの恐れがあります。



**禁止**

本製品を周囲温度が5～35℃以外の場所で使用しない。

火災や機器破損などの原因となることがあります。



**禁止**

本製品を可燃性や引火性の物の近くで使用しない。

火災や爆発などの原因となることがあり、非常に危険です。



電源プラグを抜く

本製品の運転を終える時は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く。

火災や漏電などの原因となることがあります。

## 警告



電源プラグ  
を抜く

本体を移動するときは、排水し、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や機器破損などの原因となることがあります。



分解禁止

使用者ご自身で絶対に分解・修理・改造をしない。

機器破損だけでなく、感電や火災などの原因となることがあります。

## 注意



強制

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

火災や感電などの原因となることがあります。



禁止

本体を横にしたり、逆さまにしたりしない。

機器破損などの原因となることがあります。



禁止

本製品に振動や打撃などの衝撃を加えない。

機器破損などの原因となることがあります。



禁止

本製品の上に他の物を載せない。

機器破損などの原因となることがあります。

 **注意**

**禁止**

本製品を直射日光の  
当たる場所や高温に  
なる場所に設置しな  
い。

機器破損などの原因となることがあ  
ります。



**禁止**

本製品を有機溶剤で  
拭かない。

機器破損などの原因となることがあ  
ります。

安全上の「注意

- この項の他にも、警告や指示事項を表示していますので、本製品をご使用になる前に必ず最後までお読みください。

# 本製品について

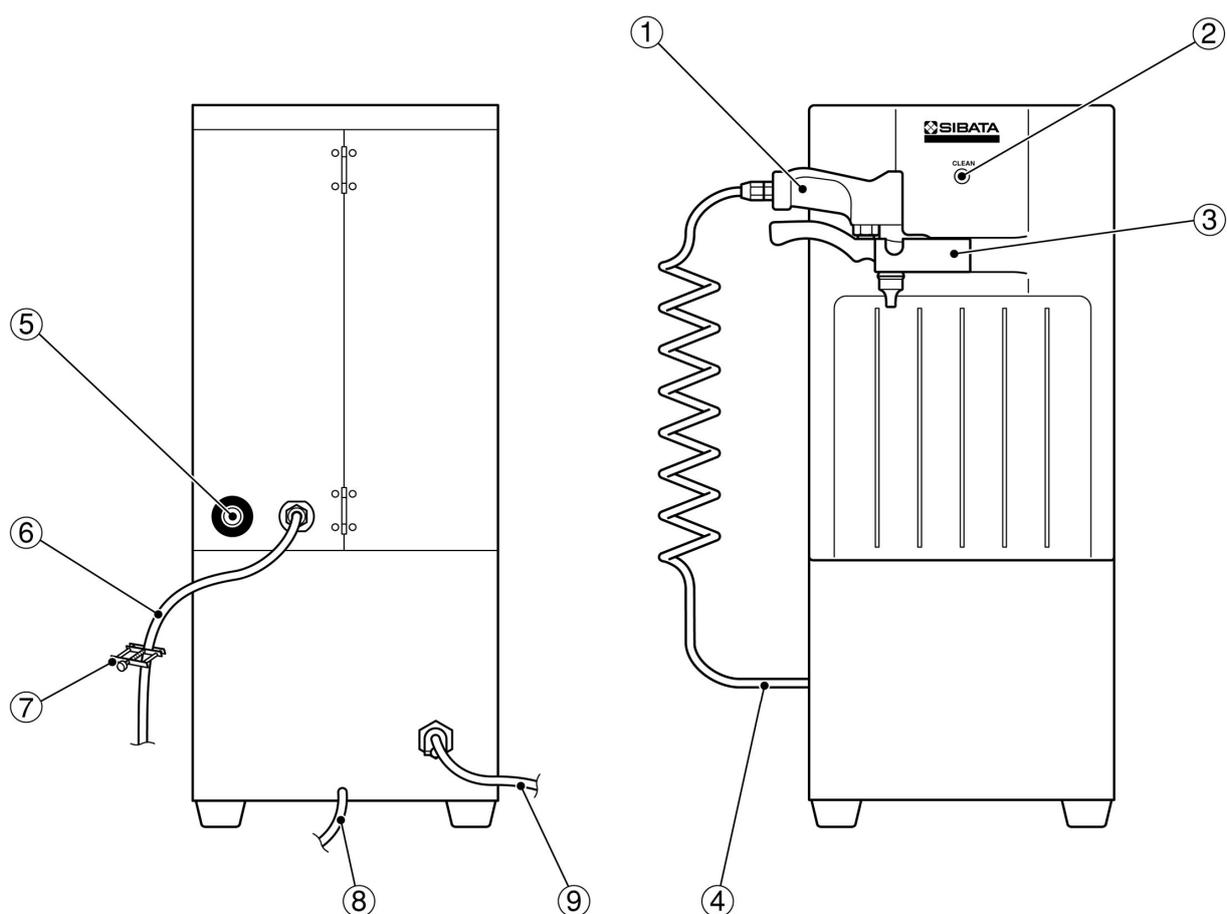
本製品は、従来の加圧ポンプを使用せずに、水道の通水圧だけで採水できる純水製造装置です。活性炭・イオン交換樹脂に加え、 $0.1\mu\text{m}$ の中空糸フィルターを採用していますので、除菌・除粒子性に優れたイオン交換水を採取することができます。

採水口には「ハンドシャワー」を装備。通常の採水スタイルのほかに、器具洗浄にも使いやすさを追求しました。また、外部接続口(兼排水口)と配管することで、他の機器へイオン交換水を供給することも可能です。

イオン交換樹脂の交換時期は、CLEANランプでお知らせします。

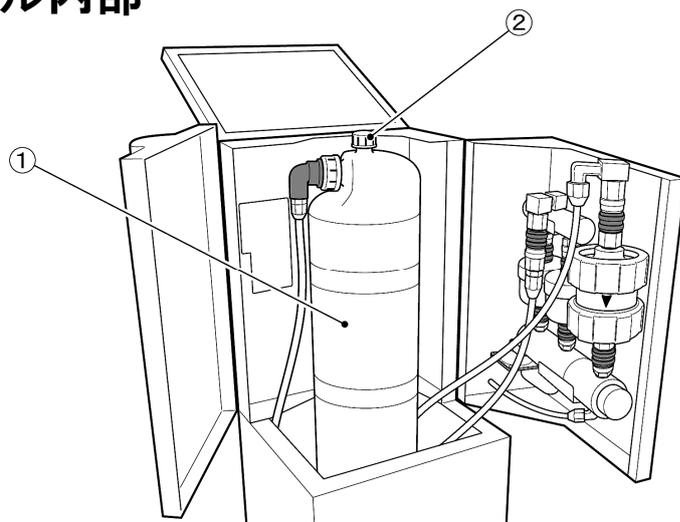
## 各部の名称

### ■ 本体

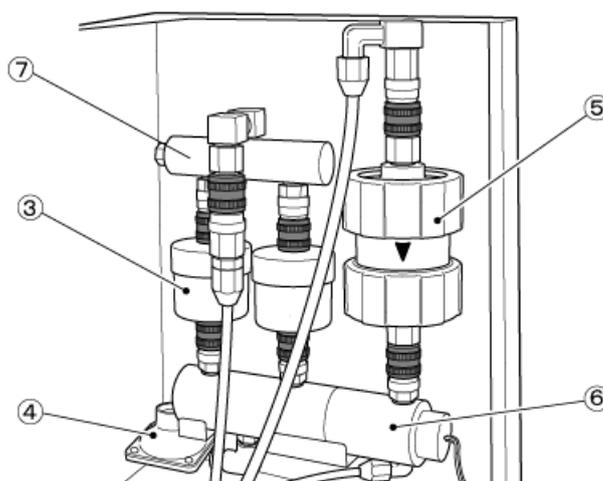


- ① **ハンドシャワー**  
取り外しのできる採水ユニットです。使いやすい形状になっています。
- ② **CLEAN ランプ**  
イオン交換樹脂の交換時期をお知らせします。
- ③ **ハンドシャワー用フック**  
ハンドシャワーをかけるためのフックです。左右方向に90° の範囲で可動させることができます。
- ④ **スパイラルホース**  
伸縮性のある配水ホースです。
- ⑤ **水道栓接続ノズル**  
付属の給水ホースを接続します。
- ⑥ **排水チューブ**  
イオン交換樹脂内の水を排水する際に使用します。また、他の機器へ純水を供給する場合も、このノズルを使用します。
- ⑦ **ピンチコック**  
イオン交換樹脂内の水を排水するときに開きます。
- ⑧ **ドレンホース口**  
付属のドレンホースを接続し、本体内部に溜まった水を排水します。
- ⑨ **電源コード**  
電源コンセントから電源を供給するためのコードです。

## ■ 本体パネル内部

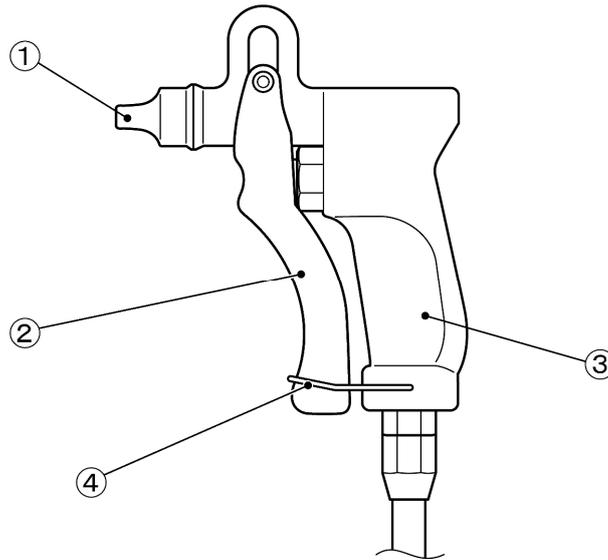


## ■ 右側扉部分



- ① **イオン交換樹脂**  
イオン交換樹脂が入っているカートリッジです。
- ② **エア抜きプラグ**  
イオン交換樹脂のエアを抜くときにゆるめます。
- ③ **活性炭カートリッジ**  
活性炭が入っている交換可能カートリッジです。
- ④ **圧力弁**  
水道圧を減圧調整するための弁です。
- ⑤ **中空糸フィルター**  
交換可能な中空糸フィルターです。
- ⑥ **センサーケース**  
導電率センサーを収納しています。
- ⑦ **分岐管**  
活性炭カートリッジへ水を分岐します。

## ■ハンドシャワー



### ① 採水口

精製された純水の噴出口です。付属の交換ノズルで水流（ストレート／シャワー）が変更可能です。

### ② 採水レバー

レバーを引くと、採水口から純水が噴出します。

### ③ グリップ

ここを持って操作します。

### ④ 採水レバー固定金具

採水レバーを引いた状態で固定できます。

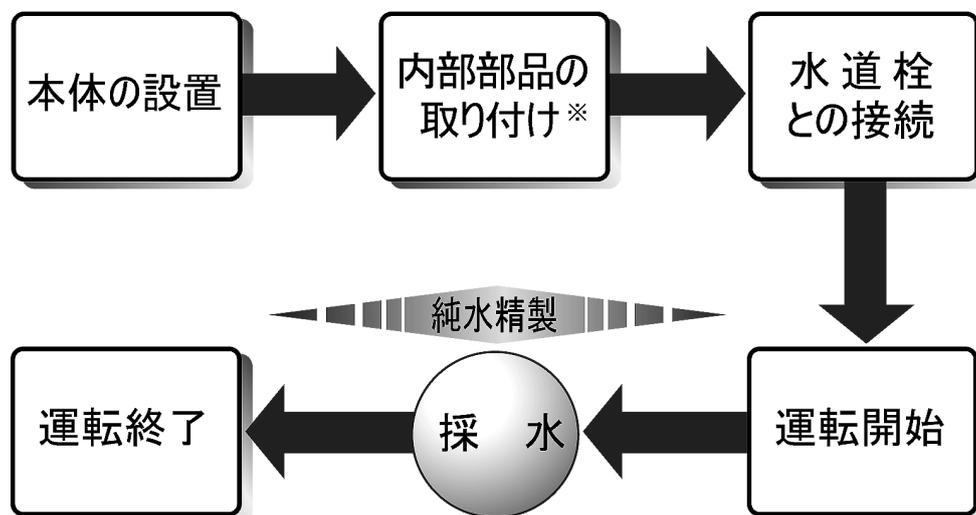
## ■CLEAN ランプについて

内蔵の導電率センサーにより、イオン交換樹脂の交換時期を CLEAN ランプで表示します。使用中にランプが緑色の点滅を始めたら、イオン交換樹脂を取り替えてください。



# 使用方法

## ■作業の流れ



※本製品のご購入時には、汚染防止のため、装置内に取り付けていないパーツ（活性炭フィルター・中空糸フィルター・イオン交換樹脂）があります。本製品を使用する前に、これらを装置内に取り付けてください。

## ■セッティング（使用前の準備）

「安全上のご注意」をよく読んでから以下の設置条件を遵守し、セッティングをおこなってください。



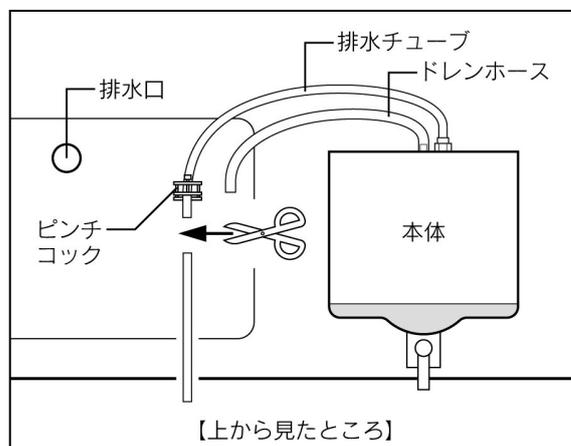
**警告**

本製品を設置するときは、設置条件を遵守する。

ケガや事故、機器破損などの恐れがあります。

### ●本体の設置

- ① ピュアポート本体を、水道栓と排水口の近くの水平で安定した場所に設置します。
- ② 付属のドレンホースを本体背面下部のドレンホース口に差し込み、ホースの先を排水口へ導きます。
- ③ 排水チューブを排水口まで折り曲げることがない長さに切ってください。チューブの先を付属のピンチコックで留めます。

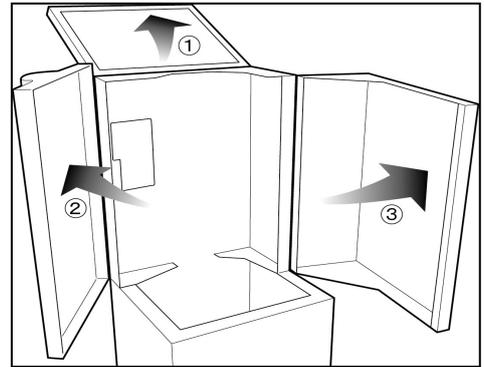


- ドレンホースは本製品を初めて使用する際と、イオン交換樹脂を交換するときのみ使用しますので、使用するとき以外は適切な場所に巻き取り、保管してください。
- 他の機器に、イオン交換水を供給（外部接続）する場合は、排水チューブを別途ポリエチレンチューブ（内径 4 mm×外径 6 mm）に交換し、機器と接続してください。

## ●内部パーツの取り付け

本体のパネルを①上面 → ②前面 → ③右側面の順に開いて、内部パーツを取り付けます。

取り付けが完了したら、逆の順序でパネルを閉じてください。



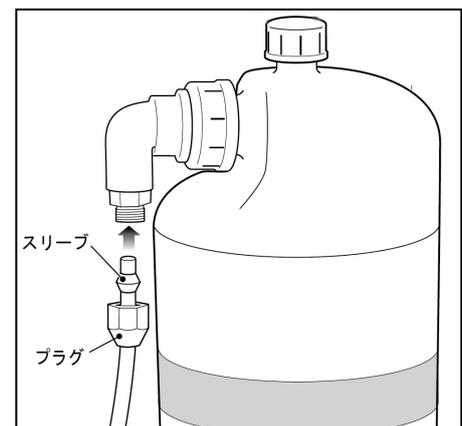
**警告**

本体内部の制御基板には絶対触れない。  
機器破損などの原因となることがあります。

## イオン交換樹脂の取り付け

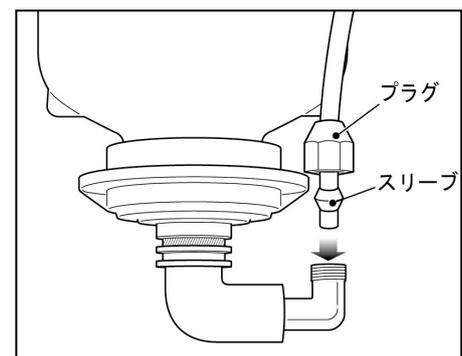
- ① イオン交換樹脂に付属の PE チューブ（ソケット付）を取り付けます。

PE チューブのソケットが付いていない側からプラグ、スリーブの順番で接続部品を入れます。

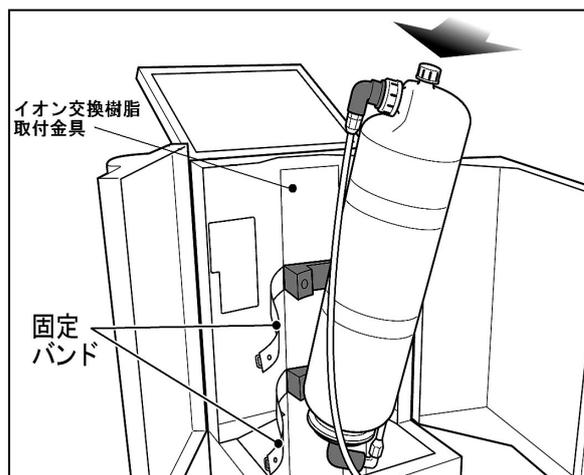
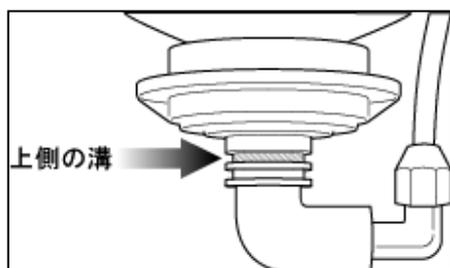


イオン交換樹脂の両端のキャップを外し、PE チューブ 900 mm をイオン交換樹脂のエア抜きプラグ側に、PE チューブ 600 mm をもう片方へ接続します。

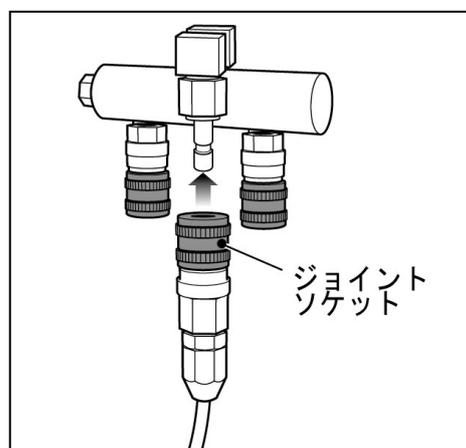
- プラグはスパナでしっかり締めてください。



- ② エア抜きプラグ側を上にして本体内のイオン交換樹脂取付金具に取り付け、バンドで固定します。このときイオン交換樹脂下部の矢印の溝（上側）が本体内のイオン交換樹脂取付金具の切り欠きにはまるように取り付けてください。

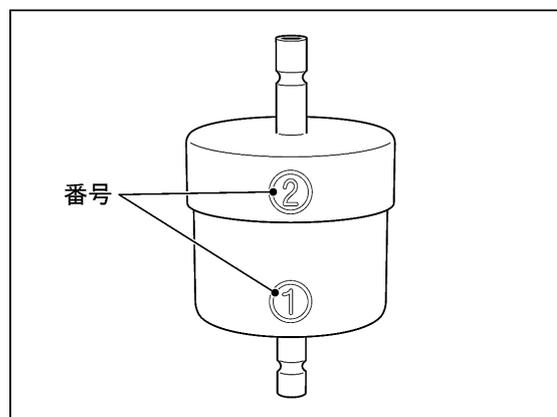


- ③ エア抜きプラグ側に接続した PE チューブの先端についているソケットを分岐管に接続します。

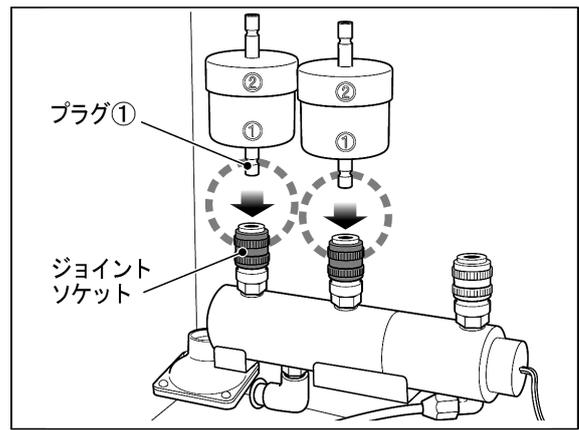


## 活性炭カートリッジの取り付け

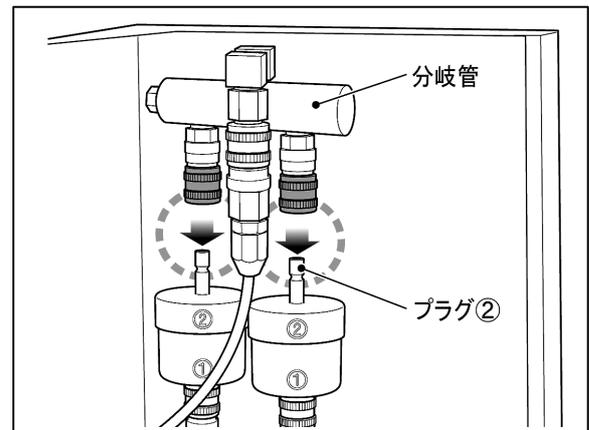
- ① 活性炭カートリッジを2個、本体内の指定の位置に取り付けます。  
このときに、カートリッジの上下各部分に付けられている番号「①、②」を確認してください。



- ② 活性炭カートリッジの下側のプラグ①を、センサーケース上の部分にジョイントソケットを「カチッ」と音がするまで（2個共）差し込みます。



- ③ 活性炭カートリッジの上側のプラグ②に、分岐管を「カチッ」と音がするまで差し込みます。



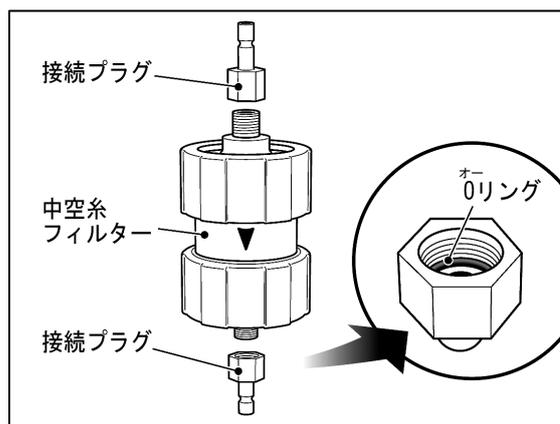
- ④ 活性炭カートリッジには、交換時期の目安のためのシールが貼り付けてあります。シールに使用開始日を記入してください。

以上で、活性炭カートリッジの取り付けは完了です。

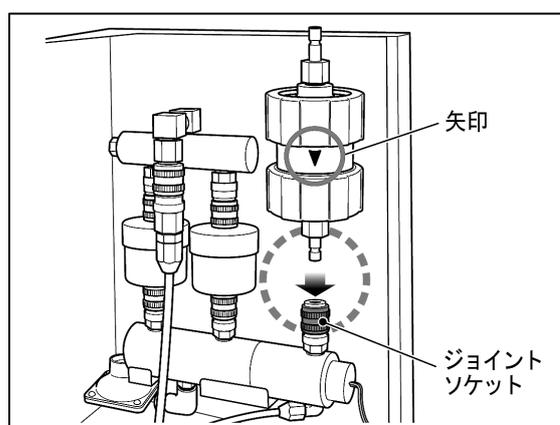


## 中空系フィルターの取り付け

- ① 中空系フィルターをセンサーケース上部に取り付けます。  
 まず、中空系フィルターと接続プラグ 2 個（プラグの内側に O リングが入っていることを確認）を、中空系フィルターの上下にしっかりと取り付けてください。

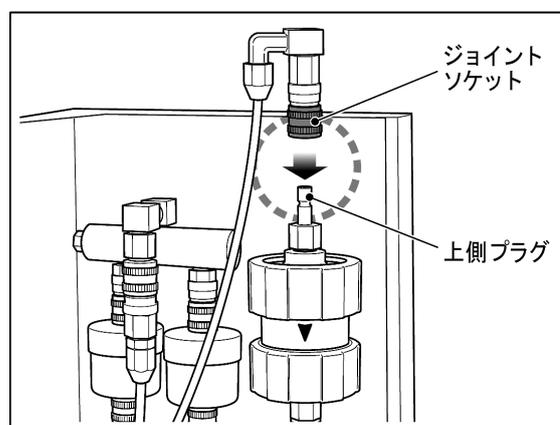


- ② 中空系フィルターの矢印が下向き(▼)になるように取り付けます。  
 センサーケース上部のジョイントソケットに、中空系フィルター下側のプラグを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



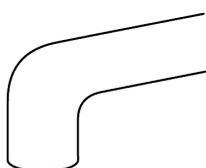
- ③ 中空系フィルター上側のプラグに、イオン交換樹脂の右下から出ているチューブ先端に付いているジョイントソケットを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

以上で中空系フィルターの取り付けは完了です。

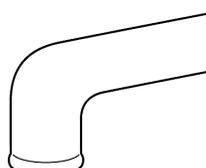


## 水道栓の接続

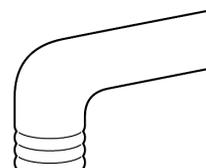
### 取付コネクターが装着可能な蛇口



蛇口外径φ13~24mmの水道栓  
 (先端がストレートなタイプ)

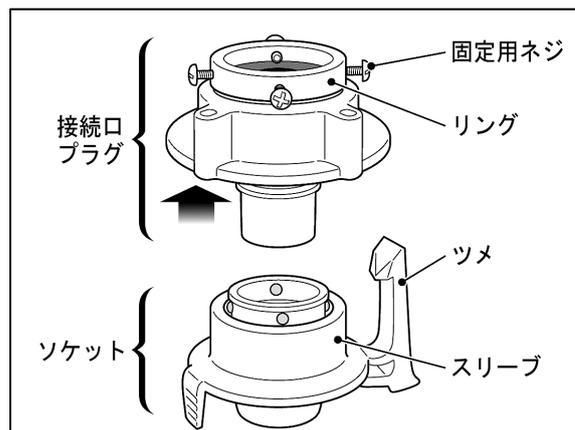


蛇口外径φ13~24mmの水道栓  
 (先端がふくらんだタイプ)

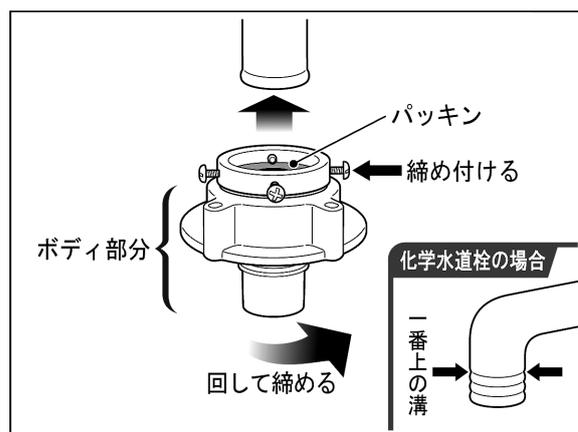


蛇口外径φ12mmの  
 化学水道栓

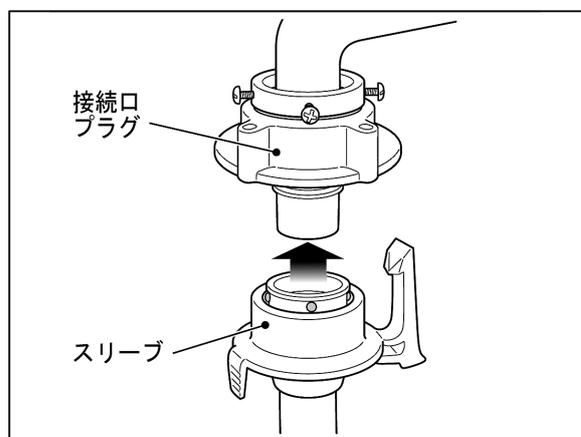
- ① 給水ホースを水道栓に接続します。  
 給水ホース先端についている取付コネクタのツメを外しながら、スリーブを下方方向にスライドさせて、ソケットから接続口プラグを上方向に取り外します。  
 次に、接続口プラグのリングに付いている固定用ネジ（4本）をゆるめます。



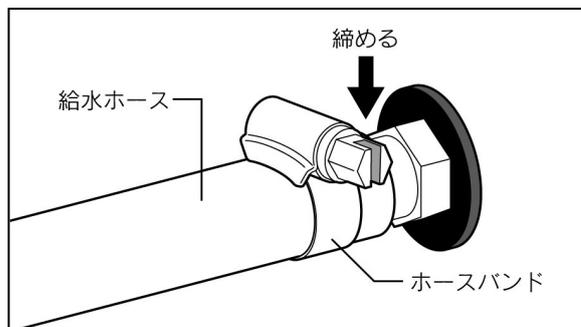
- ② 蛇口に、接続口プラグのリング内のパッキン（黒色）を押し付けながら、固定用ネジ（4本）を均等に締め付け、次にボディ部分を図のように回してリングを締め付けます。
- 化学水道栓の場合は、蛇口の一番上の溝に固定用ネジがくるようにして取り付けてください。



- ③ ソケットのスリーブを下方方向にスライドさせたまま、接続口プラグをソケットに差し込みます。スリーブのツメが接続口プラグにかかったら、スリーブをスライドさせている指を離してください。



- ④ 給水ホースを本体背面のノズルに接続します。使用中不意に外れたりしないように、付属のホースバンドでしっかり締め付けてください。



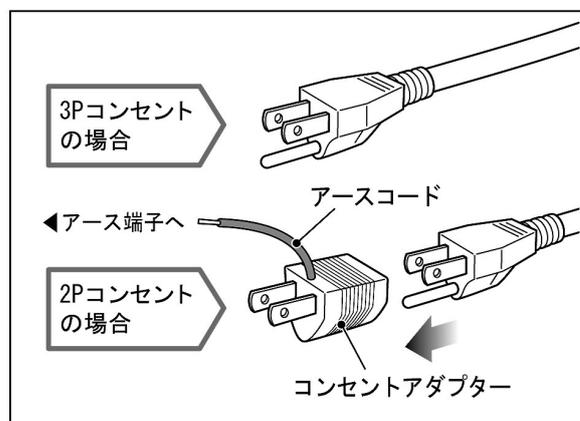
以上で、水道栓との接続は完了です。

## ■採水方法

「安全上のご注意」をよく読んでから、操作をおこなってください。

なお、前回の使用から、長期間経過している場合には、性能保持のため、イオン交換樹脂、活性炭カートリッジ、中空糸フィルターを新品に交換してからご使用ください。

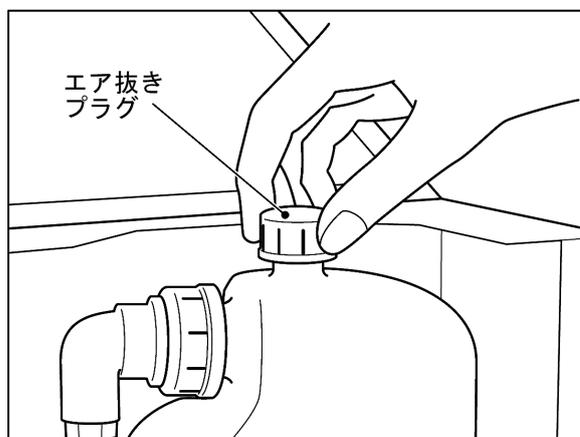
- ① セッティングが完了していることを確認し、電源プラグをAC100V アース付き 3P コンセントに接続してください（電源プラグを接続すると、CLEAN ランプが緑色に点灯します）。
- アース付き 3P コンセントがない場合は、付属のコンセントアダプターを使用して、2P コンセントに接続します。このとき、アース線を必ずアース端子に接続してください。



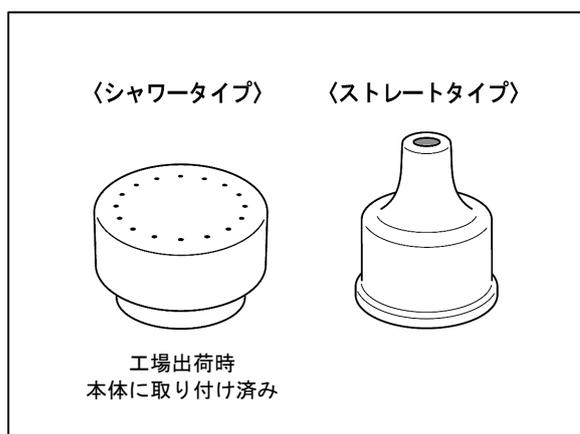
**警告**

**電源プラグをコンセントに接続するときは、必ずアースを設置する。**  
漏電や感電などの原因となることがあります。

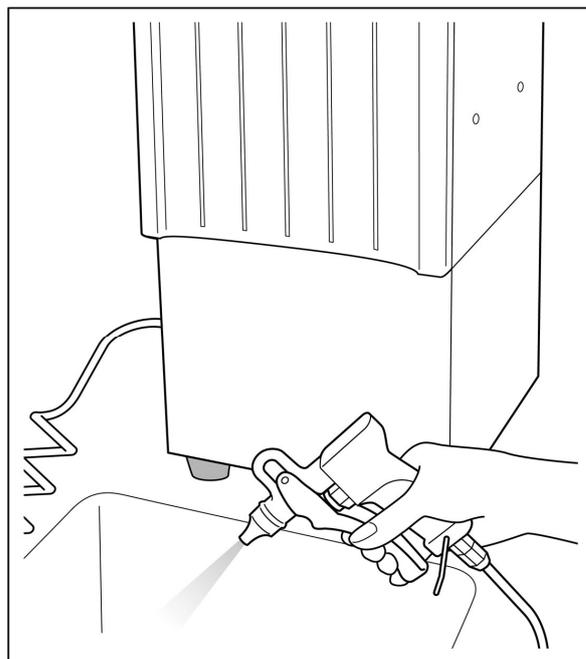
- ② 水栓を開きます。次に本体のパネルを上面 → 前面 → 右側面の順に開きます。  
（P. 15「●内部パーツの取り付け」参照）  
ドレンホース（P. 10「各部の名称」参照）が排水口に差し込まれていることを確認してから、イオン交換樹脂のエア抜きプラグをゆるめてください。エアが抜けたら、エア抜きプラグを締めます。  
ドレン口から排水されず、本体内に溜まってしまった水は拭き取ってください。



- ③ 採水口に、2種類の付属ノズルのうち用途に合ったもの（シャワータイプ／ストレートタイプ）どちらかを取り付けます。
- ストレートタイプのノズルを使用した場合、約 1.2L/min の通水が可能です。

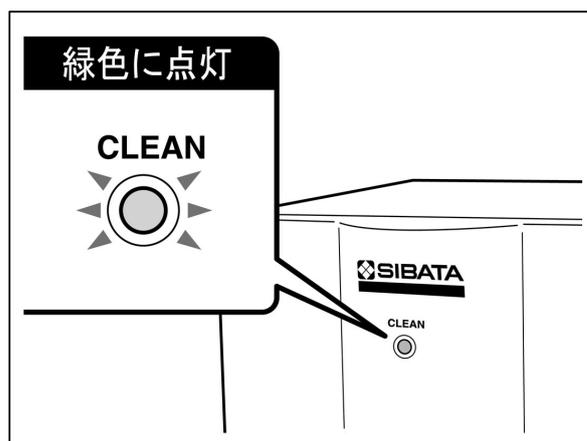


- ④ 水質が安定「CLEAN ランプが緑色に点灯」するまで通水をおこないます。  
 (採水口から排水ができる場所にハンドシャワーを移動してください)



- ⑤ ハンドシャワーの採水レバーを握って排水し、CLEAN ランプが緑色に点灯すれば、通水は完了です。  
 このときに、採水レバー固定金具 (P. 13「ハンドシャワー」参照)を使用すると便利です。

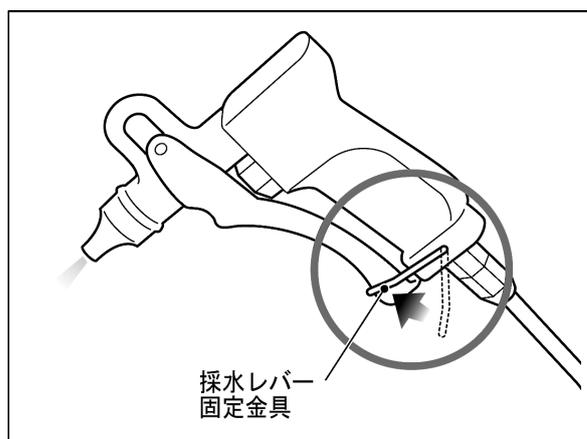
- 水質が安定するまでは、CLEAN ランプが緑色の点滅もしくは赤色の点灯状態が続きます。
- 本製品をご購入後初めて使用する場合、または長時間使用していなかった場合は、CLEAN ランプが緑色に点灯しても、5分間程、排水を続けてください。



- ⑥ 採水を始めます。採水レバーを握ると水が噴出します。

- ⑦ 採水が完了し、運転を終了するときは、水道栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、その後、装置内に残っている水を、ハンドシャワーから排水してください。

(このときハンドシャワーが本体よりも、できるだけ低い位置になるようにしてください)



## ■ 消耗部品の交換

本製品に使用しているイオン交換樹脂、活性炭カートリッジ、中空糸フィルターは、採水によって徐々に劣化し処理能力が低下しますので、定期的に部品の交換をおこなってください。部品の交換をするときは、必ず水道栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。（このときに、本体内部の制御基板には絶対に触れないでください）



**警告**

消耗部品を交換する際は、事前に水道栓を閉め、コンセントから電源プラグを抜く。

水漏れや機器破損などの原因となることがあります。



**警告**

本体内部の制御基板には絶対に触れない。

感電や機器破損の恐れがあります。

## ● 消耗部品の交換時期

各消耗品の交換時期の目安は、次の通りとなります。なお、活性炭カートリッジと中空糸フィルターは、使用量にかかわらず、6カ月に一度、定期的に交換してください。

消耗部品	交換時期の目安	処理能力
イオン交換樹脂	CLEAN ランプが緑色に点灯しない（緑色の点滅または赤色の点灯のまま）。	約 800～900 L （原水…200 $\mu$ S/cm）
活性炭カートリッジ	使用開始から 6 カ月、またはイオン交換樹脂を 7 本交換すること。	流量が減少し始めるまで約 7000 L （原水…東京都の水道水の場合）
中空糸フィルター	使用開始から 6 カ月、または 6 カ月以前でも流量が少なくなったとき。	流量が 1.2 → 0.9 L/min に減少するまで約 2500 L

### 【参考：本製品から採水した純水と原水の比較】

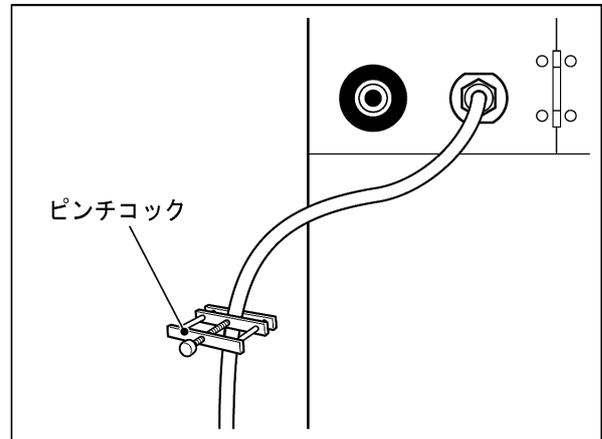
	導電率	TOC	亜鉛	塩化物イオン	硫化物イオン	シリカ
原水	17.1 mS/m	500 $\mu$ g/L	2.6 $\mu$ g/L	21000 $\mu$ g/L	34000 $\mu$ g/L	17000 $\mu$ g/L
純水	0.008 mS/m	120 $\mu$ g/L	0.2 $\mu$ g/L 未満	0.5 $\mu$ g/L 未満	1.0 $\mu$ g/L 未満	28 $\mu$ g/L

（原水…埼玉県草加市水道水の場合）

## イオン交換樹脂の交換

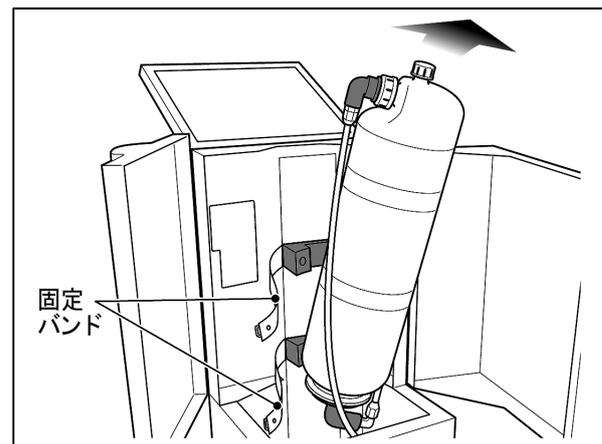
- ① 水道栓を閉めて、電源プラグをコンセントから抜き、次に排水ホースを排水口に差し込みます。他の機器に接続している場合は、配管を外し、排水ホースに交換してください。

- ② 本体背面のピンチコックを開き、排水チューブからイオン交換樹脂内の水を排水してください。



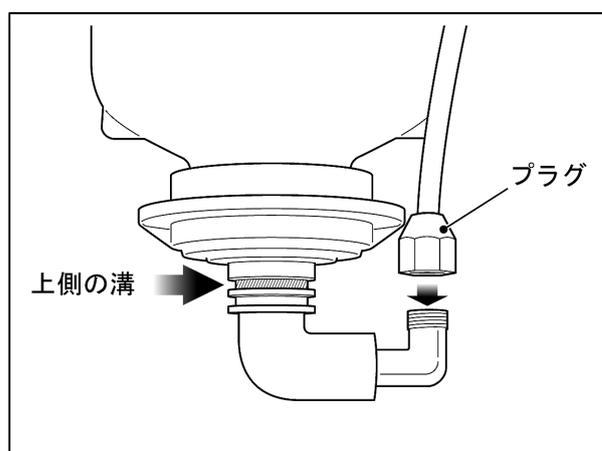
- ③ 本体パネルを上面 → 前面 → 右側面の順に開きます。

(P. 15「●内部パーツの取り付け」参照)  
次に、イオン交換樹脂を本体内に固定しているバンドを外し、イオン交換樹脂を取り外します。



- ④ 新しいイオン交換樹脂についているキャップを外し、古いイオン交換樹脂についていたプラグを接続します。次に、エア抜きプラグ側を上にして本体内の取付金具に取り付け、バンドで固定します。

このとき、イオン交換樹脂下部の矢印の溝（上側）が、本体の取付金具にはまるように取り付けてください。



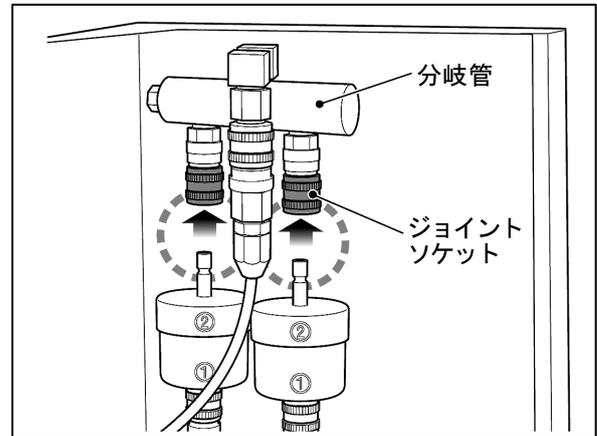
- ⑤ ピンチコックを閉じ、本体のパネルを右側面 → 前面 → 上面の順に閉めてください。

以上で、イオン交換樹脂の交換作業は終了です。

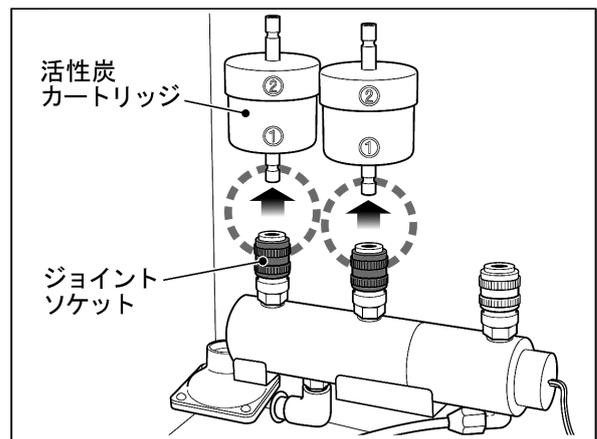
## 活性炭カートリッジの交換

- ① 水道栓を閉めて、電源プラグをコンセントから抜き、本体のパネルを上面 → 前面 → 右側面の順に開きます。(P. 15「●内部パーツの取り付け」参照)

- ② 活性炭カートリッジ上側のジョイントソケットの黒い部分を下方に押し下げると「プシュ」と音がしてソケット部が外れますので、2箇所とも外し、分岐管を取り外します。



- ③ 活性炭カートリッジを手で押えながら、カートリッジ下側のジョイントソケットの黒い部分を上方に押し上げると「プシュ」と音がしてソケット部が外れますので、2箇所とも外し、活性炭カートリッジを取り外します。  
(活性炭カートリッジは、必ず2個同時に交換してください)



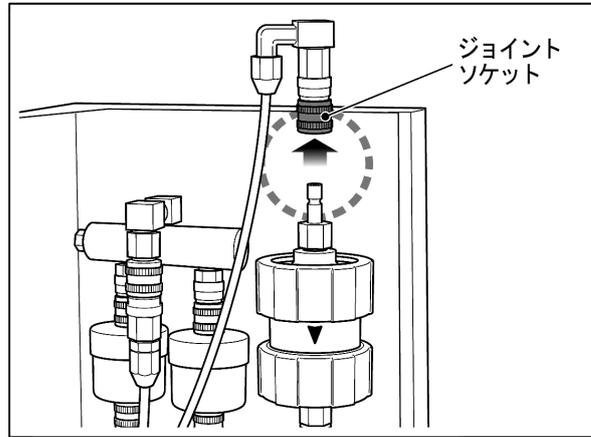
- ④ 新しい活性炭カートリッジを、逆の手順で取り付けます。  
(P. 16「活性炭カートリッジの取り付け」参照)
- ⑤ 新しい活性炭カートリッジに貼り付けてある、交換時期の目安のためのシールに、使用開始日を記入してください。  
(P. 17「交換時期の目安シール」参照)  
本体のパネルを右側面 → 前面 → 上面の順に閉めてください。

以上で、活性炭カートリッジの交換作業は終了です。

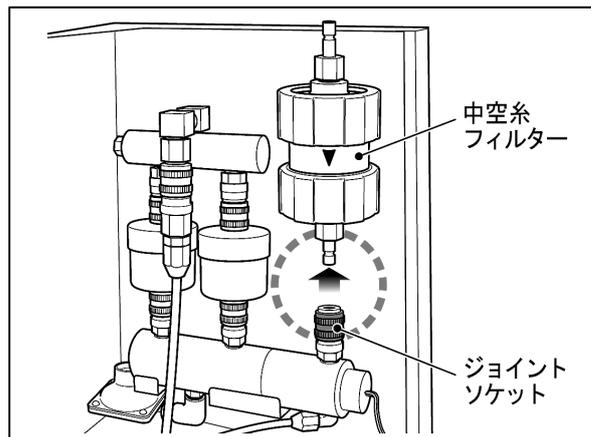
## 中空糸フィルターの交換

① 水道栓を閉めて、電源プラグをコンセントから抜き、本体のパネルを上 → 前 → 右側の順に開きます。(P. 15 「●内部パーツの取り付け」参照)

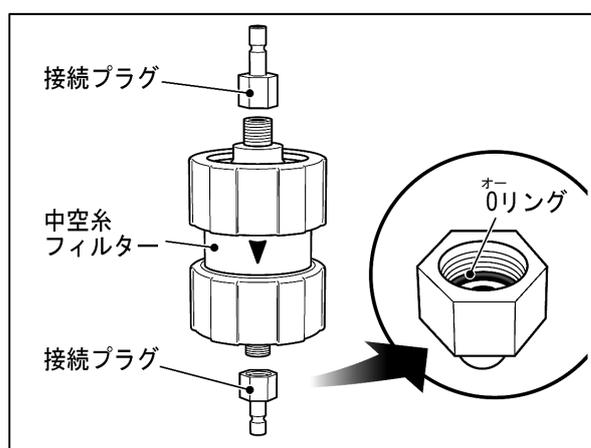
② 中空糸フィルターの上のジョイントソケットの黒い部分を下方に押し下げると「プシュ」と音がしてソケット部が外れます。



③ 中空糸フィルターを手で押えながら、フィルター下側のジョイントソケットの黒い部分を上方に押し上げると「プシュ」と音がしてソケット部が外れますので、古い中空糸フィルターを取り外してください。



④ 取り外した中空糸フィルターの上下についている接続プラグを外し、新しい中空糸フィルターに取り付けます。この際、接続プラグの内側にOリングが入っていることを確認してください。



⑤ 新しい中空糸フィルターを逆の手順で取り付けます。(P. 18 「中空糸フィルターの取り付け」参照)

⑥ 本体のパネルを右側面 → 前面 → 上面の順に閉めてください。

以上で、中空糸フィルターの交換作業は終了です。

使用方法  
(消耗部品の交換)

# トラブルシューティング

ご使用中に異常が発生したら、すみやかに使用を中止してください。異常の原因が故障のときは、修理をご依頼ください。

場合によっては、異常の原因が故障以外であることもあります。修理をご依頼になる前に、以下の点についてご確認ください。

症 状	原 因	処 置
CLEAN ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が供給されていない。または停電している。	電源を供給するか、電源復帰を待ってください。
	電源プラグ、または電源コードが破損している。	修理をご依頼ください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
CLEAN ランプの点灯色が緑色にならない（緑色の点滅または赤色の点灯）。	イオン交換樹脂が交換時期になった。	イオン交換樹脂を交換してください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
採水レバーを握っても、採水口から水が出ない。 または、出が悪い。	水道栓が閉まっている。	水道栓を開けてください。
	内部で水が漏れている。	各フィルターの接続箇所に水漏れがないか確認してください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
	イオン交換樹脂が固まっている。	イオン交換樹脂を外し、横にして数回振ってください。

確認の結果、故障であると思われる場合は、ご自分で分解・修理なさらずに、お買い上げ販売店、または当社までご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名／型式
- 故障の状態
- シリアルナンバー
- 使用していた状況
- 購入年月日

# 点検とお手入れ

安全にお使いいただき、性能をより長く保つために、定期的または使用前に点検とお手入れをおこなってください。



点検とお手入れの前に、水道栓を閉め、コンセントから電源プラグを抜く。

水漏れや機器破損などの原因となることがあります。

## ■点検

### ●電源コード

使用前に、電源コードが損傷を受けていないか確認してください。損傷があるまま使用すると、感電や漏電などの原因となることがあります。

損傷があった場合は、使用を中止し、修理をご依頼ください。

### ●本体・各部品

使用前に、本体や部品が変形または破損していないか確認してください。異常があるまま使用すると、ケガや事故の原因となることがあります。

変形や破損があった場合は、使用せずに修理をご依頼ください。

また、消耗部品の交換時期についても、常に確認をおこなってください。

## ■お手入れ

本体等の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、布に中性洗剤を少量含ませて拭いてください。シンナーやベンジン、アルコール等は表面を痛めるため、絶対に使用しないでください。

## 主な仕様

品目コード	053200-02	
型式	PP-201	
性能	採水方法	活性炭 → イオン交換樹脂 → 中空糸フィルター
	採水純水	イオン交換水
	採水量	1.2 L/min
	水質	CLEAN ランプ緑点灯時：1 $\mu$ S/cm以下
構成	水質表示	表示灯（CLEAN ランプ）
	イオン交換樹脂	カートリッジ型（混床式 5 L、1 本）
	原水ろ過	活性炭カートリッジ（2 本）
	最終ろ過	中空糸フィルター（0.1 $\mu$ m）
原水圧力範囲	0.15～0.5 MPa	
電源	AC100 V 50/60 Hz 0.2 A	
寸法（突起含まず）	250 (W) × 295 (D) × 605 (H) mm	
質量	約 18 kg	

注 1) 本製品は防爆仕様ではありません。

注 2) 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

## 消耗品など

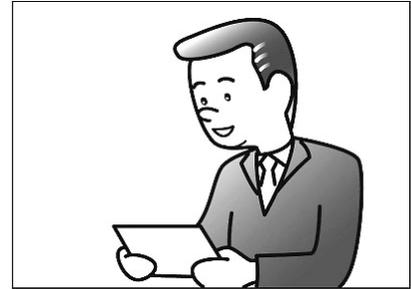
品名	品目コード	備考
活性炭カートリッジ	053200-012	1 個入。●本製品では 2 個使用します。
中空糸フィルター	053200-013	1 個入。
イオン交換樹脂 PP-201 用	053200-021	1 本入。
イオン交換樹脂 再生のみ PP-201 用	B53200-021	イオン交換樹脂を、再生したイオン交換樹脂と入れ替えます。※
イオン交換樹脂 新品樹脂 PP-201 用	B53200-0212	イオン交換樹脂を、新品のイオン交換樹脂と入れ替えます。※

※ PP-201 用イオン交換樹脂は、容器ごと返却いただければ、再生樹脂や新品樹脂と入れ替えます。

# 保証書と修理について

## ■保証書について

本製品には、保証書を同梱しています。ご購入時に記載内容をご確認のうえ、所定事項をご記入ください。  
保証期間はご購入日より1年間です。  
保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。



## ■保証期間内の修理は…

保証期間内の修理は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。詳しくは記載内容をご確認のうえ、お買い上げ販売店、または当社にご相談ください。  
修理を依頼される時は、製品に必ず保証書を添付してください。保証対象であっても、保証書がないと有償修理になります。なお、付属の消耗品および保証書にご購入年月日、ご購入先の記載がない場合、または記載事項を訂正された場合は、保証対象外となります。  
故障内容が次の場合は保証書の有無にかかわらず有償修理となります。

- 使用方法の誤りによる故障または損傷
- 当社以外での修理・改造による故障または損傷
- 火災・地震・天災などの不可抗力による故障または損傷
- お買い上げ後の転送・移動・落下・振動などによる故障または損傷
- 当社指定以外の消耗品類に起因する故障または損傷

## ■保証期間終了後の修理は…

保証期間終了後の修理については、お買い上げ販売店、または当社にご相談ください。  
修理によって機能が維持でき、補修部品の確保が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

主な仕様・消耗品など・  
保証書と修理について・お問い合わせは…

# お問い合わせは…

本製品につきまして、ご不明な点、ご用命などがございましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店、または当社までお問い合わせください。

 **柴田科学株式会社**

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）

 0120-228-766  FAX 048-933-1590

フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>